

広報たかつき

知る 広がる 好きになる

TAKATSUKI

Days



第71期王将戦に登場！

将棋のまちの 将棋スイーツ



10 令和4年度 施政方針

16 お出かけ時の感染対策

24 コミュニティ・スクール

令和4年

4

No.1409

令和4年4月号2～5ページは、ウェブ上の
掲載期間について、発行から令和4年6月末
までとして取材、編集したものです。現在、
このページをご覧いただくことはできません。
ご了承ください。



話のネタにぜひチェック! 将棋のまちトピックス

ビッグネームによる王将戦、「西の聖地」関西将棋会館の移転など、注目が高まっている高槻。
「将棋のまち」の市民なら知っておきたい、昔と今の話題をピックアップ!



01 関西将棋会館建設プロジェクト 総額5億円目標のクラウドファンディング第2期



著名な棋士を起用したビジュアルで関西将棋会館建設支援を広く呼びかけ

「一千年の歴史を紡ぐ『将棋』を未来のことともたちへ」。昨年7月末、高槻市と日本将棋連盟がタッグを組み、ふるさと納税型のクラウドファンディングに挑戦。目標を超える約2億3,000万円の寄附を集め、「西の聖地」建設への期待をうかがわせた。

第2期は4月上旬スタート。市外に住む家族や友人に知らせよう。市民も参加可能なので、ぜひ支援を!

問合先 TEL.072-674-7830
(観光シティセールス課)



くわしくは特設サイトを



関西将棋会館高槻移転をPRする
ラッピングバスも4台運行中



現在、大阪市福島区にある関西将棋会館が令和5年度には高槻へ!
建設予定地はJR高槻駅西口すぐ

02 王将戦では 会場の外にも注目

恒例の関連イベントにファン殺到!
棋士も登壇する前夜祭は23倍越えの競争率。対局の行方を同時進行で伝える大盤解説会も競争率約5倍。さすがの注目度!

高槻こども王将戦の優勝者は封じ手開封立ち合いに同席!
全国の小学生を対象に、王将戦の一日目に合わせて開催。優勝した谷口陽飛さんにはサプライズ副賞として、封じ手開封に立ち会えるという特別な体験が。

市営バスの行先表示が王将戦仕様に!
「将棋のまち」のラッピングバスとは別に、王将戦期間には回送中のバスに歓迎メッセージが表示。



＼番外編／



SNSでファンを増やす
野見神社の花手水も、
この日は王将戦がテーマだった。奉納している
のは石田花店。「頭脳の格闘技、火花を散らす戦いをイメージした」
のだそう

04 高槻市長vs島本町長中将棋対決第2戦 「高槻戦国無双将棋合戦」が開催

関西将棋会館の高槻移転決定を記念し、江戸時代に盛んに行われていた中将棋で戦う将棋イベントが昨年12月に開催。今回は人気ゲーム「戦国無双5」とタイアップ。会館移転の支援を呼びかけるとともに、将棋振興の取り組みや戦国武将をはじめとした高槻の魅力を広く発信した。



「戦国無双5」とタイアップし、高槻市長は羽柴秀吉、島本町長を徳川家康に見立ててPR



対局の行方も、PR動画も、YouTube「BOTTOたかつきチャンネル」で公開中



豪華なゲスト棋士たちによる軽妙なトークと解説は今回も健在で、将棋にくわしくなくても楽しめると好評だった



女流棋士による
「将棋のまち高槻」の
PR動画も

05 高槻は昔から 「将棋のまち」!

高槻城があった頃、高槻では将棋が広く楽しめていたといわれている。武家屋敷が広がっていた高槻城の三の丸跡からは、当時の将棋駒が多数出土。市内の旧家では将棋本などが伝来していて、娯楽として定着していたことがうかがえる。



上)携帯サイズの将棋の
指南書「象棋指方伝」も
右)江戸時代の小将棋
や中将棋の駒が多数見
つかっている(写真は小
将棋)

06 若手からベテランまで多士済々 高い高槻の棋士輩出率

現在、全国約160人の現役棋士中6人が高槻出身・在住者。自治体の数は約1,700なので、やはり多い。第1号は明治25年生まれ故・中井捨吉八段。



桐山清澄九段
昭和22年生まれ。「棋王」「棋聖」のタイトル経験者



福崎文吾九段
昭和34年生まれ。「十段」
「王座」のタイトル経験者



長沼洋八段
昭和40年生まれ。NHK
連続テレビ小説に出演も



伊奈祐介七段
昭和50年生まれ。癒しは
コーヒーブレイク



浦野真彦八段
昭和39年生まれ。詰将
棋づくりの名手



古森悠太五段
平成7年生まれ。高槻将
棋界の最若手

03 安満遺跡公園に将棋盤&駒セットの レンタルサービスが!

青空の下で将棋を楽しめるサービスを実施中。レンタルは1日200円。1台限りなので早い者勝ち。

問合先 TEL.072-648-4725(公園事務室)

関西将棋会館移転で
さらなる将棋環境充実に期待

「桐山清澄杯」や「こども王将戦」などの全国大会や、「子ども将棋高槻サテライト教室」などに取り組んできた高槻。「西の聖地」は将棋をさらに身近にしてくれそうだ。



引退棋士 東和男八段 日本将棋連盟の役員歴も

※のちの竜王戦へと発展した十段戦のタイトル